

【シリーズSDGs ⑨】
身近なところからSDGsの取組をしましょう。

ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

SDGsゴール9は「産業と技術革新の基盤をつくろう」を目標としています。

電気、ガス、水道、交通、インターネットなど生活や産業などの基盤となるインフラの整備によって私たちの暮らしは支えられています。

世界では、25億人が基本的な衛生施設を利用できないほか、水資源にアクセスできない人が約8億人、道路に簡単にアクセスできない人が約3億人います。インフラの未整備により、企業の生産性は約40%損なわれると言われています。

日本では、インフラ設備の老朽化が課題として挙げられます。また、近年、自然災害が多発しており、災害時に人命・経済・暮らしを支えるインフラの機能を維持できるよう強化も求められています。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



○行政の役割としては

地域のインフラ整備に対して極めて大きな役割を有しています。また、地域経済の活性化戦略の中に地元企業の支援などを盛り込むことで新たな産業やイノベーションを創出することにも繋がります。

○私たちができること(例)

- ・生活に欠かせないインフラ設備について調べてみる。
- ・生活の中に、どのような新しい技術が利用されているのか関心を持つてみる。

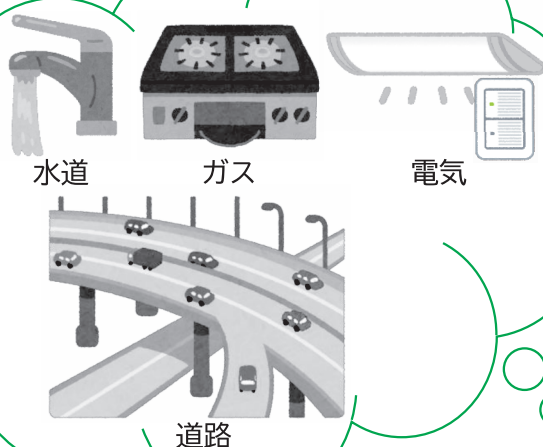
2030年までの国際的な目標の実現に向け意識をして実践しましょう。

私たちができること(例)

インターネットや人工知能の技術により様々な便利なものが生まれています。



暮らしを支えるインフラ



目標達成のためのターゲット

- すべての人のために、安くて公平に使えることを重視した経済発展と福祉を進めていけるように、地域のインフラや国を越えたインフラを含む、質が高く信頼できる、持続可能な、災害などにも強いインフラをつくる。
- 2030年までに、資源をよりむだなく使えるようにし、環境にやさしい技術や生産の方法をより多く取り入れて、インフラや産業を持続可能なものにする。すべての国が、それぞれの能力に応じてこれに取り組む。

SDGs 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」では、上記のようなターゲットを8個掲げ、目標達成に向けて取り組みを進めて行きます。

※公益財団法人 日本ユニセフ協会HP引用

【問】 みらい創生課 企画・SDGs推進班 ☎(72)1151